

5.15

peace action 2026

沖縄平和行進



5月15日～18日に開催された沖縄平和行進に参加し、三単産の団長を務めさせていただきました。初日は全国結団式、三単産結団式が行われ全国の仲間と共に平和への思いを胸に「最後までやり

抜く」という強い団結が生まれたと思います。2日目は読谷村陸上競技場を出発し北谷ドームまでの嘉手納基地コースを全国の仲間と行進をしました。基地の無い平和な沖縄を胸に沢山の仲間とシュプレヒコールを通じて沖縄の街に声を届けてきました。戦闘機の騒音の凄まじさ、米軍基地がこれ程までに近くにある生活。住民の方々の不安な気持ちを考えるととても胸が痛みました。仲間と歩く一歩一歩の意味をしっかりと考えながら熱く行進をやり遂げました。3日目のフィールドワークでは平和記念公園、ひめゆりの塔、旧海軍司令部豪を訪問してきました。メディアでは明かされない戦争の現実。戦争で失われた多くの命の重みと悲惨さを目の当たりにしました。本来なら夢や未来を語っていたはずの若者が、「戦争」という現実の中で生きることさえ奪われていた現実。二度と同じ過ちを繰り返してはいけないと今まで以上に再認識させられました。その後に行われた学習会で今現在もPTSDで苦しんでいる人間が多いこと。戦争は命だけでなく心までも壊すということ。戦争を起こすのは確かに人間です。しかしそれ以上に戦争を許さない努力の出来るのも私たち人間ではないでしょうか。参加して終わりではなくそこからスタートであると思います。それぞれがそれぞれの形で平和行動を広げていきましょう。この3日間で感じたことを心に刻み今後の活動に生かしていきたいと思ひます。

全港湾東海地方清水支部青年部 部長 前嶋皓介



第0080号 2026年6月5日発行
全日本港湾労働組合 発行日：随時

5.15 *peace action 2026*

沖縄平和行進



沖縄にいる私たちが普段見ている光景は、全国的には当たり前ではないこと、この現状になれてしまっていることに気づかされました。行進中は、沿道や車の中からたくさんの声援がありました。手を振ってくれる方も多く、沖縄県の人々が米軍基地をなくしたいと願っている気持ちを改めて感じました。ヘイトスピーチによる妨害行為に対しても毅然とし、「基地のない沖縄」「平和な日本」「戦争のない世界」の実現に向けて行進することを確認しました。沖縄は観光地という明るいイメージのすぐそばに、戦争の悲惨さを物語る戦跡も数多くあります。ひめゆりの塔や平和の礎がある平和記念公園などは戦争の悲惨を改めて感じる場所でした。資料館で目にした「戦争は人間を人間でなくする」という言葉が心に残っています。戦後の米軍統治から日本復帰、今日までの歩みについて歴史を概観し、沖縄が世界に発信してきた平和を求めるところへの理解を深めることができました。私自身、また機会があれば是非参加したいですし、まだ参加したことのない仲間にも、多くの青年活動家と運動を共にできるこの取り組みに参加してほしいと思います。沖縄の現状や県民の思いを肌で感じ、今後もさらに青年活動できる機会を増やしたいです。

全港湾沖縄地方本部青年女性部 宮城 大翔

